

第1学年3組 道徳指導案

- 1 主題名 弱さをみつめて〔内容項目D－(22)：弱さの克服〕 (1時間完了)
〈資料名 「いつわりのバイオリン」 出典：自分をみつめる(あかつき)〉

2 ねらい

心の弱さ故の過ちを犯してしまったフランクの心情の変化に触れた後、フランクの今後の生き方を考えることを通して、弱さに負けず、自分に恥じない生き方を見いだそうとする道徳的実践意欲を高める。

3 ねらいとする道徳的価値

人はだれでも不完全な部分があり、過ちを犯す可能性をもっている。過ちを犯したとき、それを悔い改めようとする人もいれば、平然としている人もいる。どんな人間の心にも醜さと気高さが共に宿っており、そのどちらが顔を出すかで、その人の生き方は変わってくる。

本時では、人の心の中にある弱さや醜さを認めつつ、改めようとする気高さがあってこそ、そこに人間として生きる真の価値があることに気づかせたい。

4 ねらいとする道徳的価値に関する生徒の実態と願い

(1) 学級について

本学級の生徒は、給食準備を10分以内に終わらせようと、互いに「あと、3分。頑張ろう。」「用事がない人は座るよ。」と声をかけながら行うことができるなど、目標に向かって一生懸命取り組もうという意識が育ちつつある。しかし、授業についていけなくなるとよそごとをしてしまう生徒や、提出物を出さずに平気で過ごしてしまう生徒、相手が傷つく言葉を平然と発してしまう生徒など、いけないとわかっているにもかかわらずそのときの気持ちが優先してしまうといった心の弱さが言動に表れてしまう生徒の姿を目にする。

そこで、本時を通して、自らの弱さを克服し、自分の信念に恥じない生き方とはどのようなものかを考えることで、普段の自分自身の生活を振り返るきっかけにしたい。また、今後、うそをついてしまったり、何かをさぼってしまったりして弱い自分が出てきそうなとき、それを克服しようとする気持ちを高めていってほしい。

(2) 抽出生徒について

① 抽出生徒Aについて

どの授業にも積極的に取り組み、1日の挙手回数ではいつも学級で一番を争うほどである。学級の係ではリーダーの立場にはいないが、学級のことを考えた言動をすることが多く、学級の中心で活躍する生徒である。しかし、悪ふざけを見て楽しむなど心配な面もある。

そこで、本時を通して、フランクの心の弱さに触れながらも、Aが、心の弱さや過ちを犯してしまったフランクが今後どんな生き方をしていくかを考えることを通して、自分の生き方を振り返るきっかけとしてほしい。

② 抽出生徒Bについて

明るく元気で、学級の仲間をいつも笑顔にしているムードメーカーのような存在である。部活動は卓球部に所属しており、自分の大好きな卓球については、辛いことや苦しいことがあっても負けずに頑張ることができる生徒である。一方で、苦手な授業では、授業に集中することができずに気が散ってしまったり、他人に流されて授業での約束ごとを守ることができなくなってしまうことがよくある。

そこで、本時を通して、Bなりに「自分に恥じない生き方」とはどんな生き方かを考え、普段の生活態度を振り返り、今後の生き方を見つめ直すきっかけとしてほしい。

5 資料について

(1) 資料の概要

ブレーメンの町はずれにある小さな工房には、腕の良いフランクという職人がいた。フランクは納得のいかない作品には、自分のラベルを貼らないほど情熱を燃やしてバイオリン作りに励んでいた。

ある日、著名なバイオリニストから制作のオファーがあった。無理な日程の中でできあがったバイオリンは満足な仕上がりにならなかった。しかし、なんとかこのチャンスをものにしたいフランクは、弟子のロビンがつくったバイオリンを自分のものとして著名な演奏家に提供してしまう。尊敬する師匠の、目を疑いたくなるような行為に、ロビンは愕然とする。

有名になり注文が増えるほどに、心は重く憂うつになるフランク。ロビンに打ち明けなければならないと思うが、言葉が見つからない。そんな師匠の心を察し、ロビンはフランクの工房を去った。

ある日、ロビンから「私はあなたのバイオリンの音色にあこがれあなたの弟子になりました。あなたのもとでバイオリンづくりの修行ができたことは、生涯の宝です。今でも私はあなたの音を求めてバイオリンづくりに励んでいます……」という手紙が届いた。それを読んだフランクは涙を床に落とした。

(2) 「耳をすまして、学びを拓く」ための資料の生かし方

①資料と対話をさせるための手だて

紙芝居にして範読することで、登場人物とその人柄について簡単に確認する。

次に、「何とかしたい一心の中でフランクはつぶやきました。同時に、いろいろな想像が頭の中を駆けめぐります。」の部分に着目し、著名なバイオリニストの期待に応えたいというフランクの素直な気持ちの裏に、多少の打算的な心が垣間見えることをおさえる。

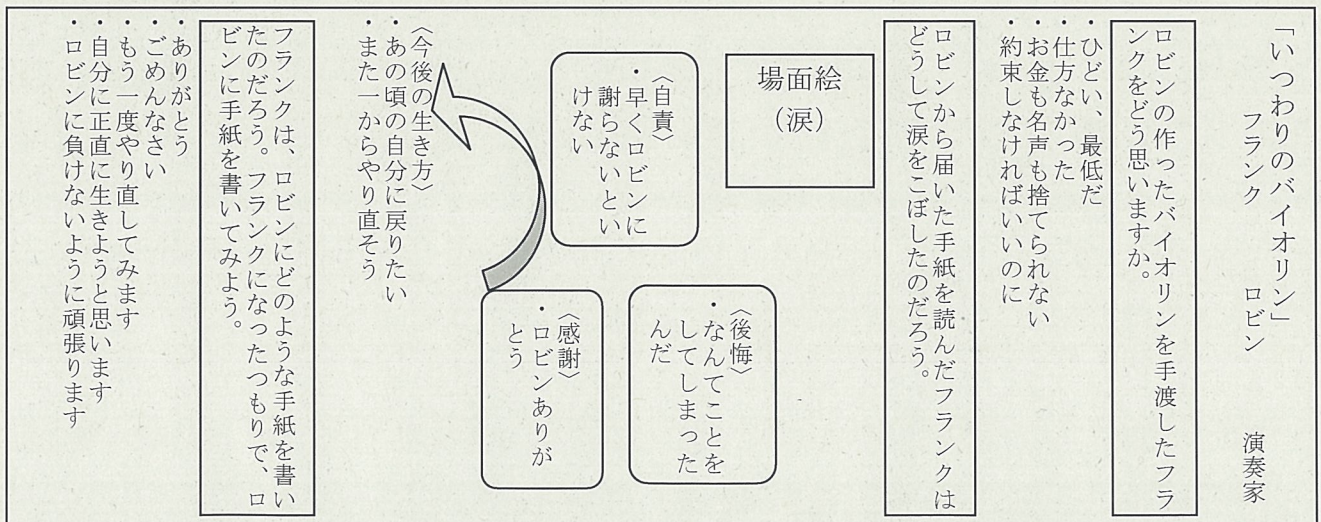
さらに、「一瞬、手をとめたものの、気が付くとフランクはそのバイオリンを手にしていました。」の部分に着目し、フランクの良心と人間の弱さの葛藤があることを読み取らせ、十分に考えをゆさぶった後で中心発問に移る。

②他者との対話、自己内対話をさせるための手だて

机間指導をして生徒の意見をあらかじめ把握しておくことで、中心発問における話し合いにおいて後悔や自責の念だけでなく、かつての誇り高い自分を思い出し、誠実に生きようとする前向きな姿がとらえられるようにそれぞれの意見を分類し、共通で考えたい意見を焦点化するようにコーディネートする。

振り返りの時間を十分に確保し、生徒自身の思いや迷い、誰のどの意見に自分は影響を受けたのかということを書き記させる。本時を通して、今後の生活の中で壁にぶつかったとき、良心にしたがって正しい方向に進んでいくことができる思考力・判断力を身につけられるようにしたい。

6 板書計画



7 本時の展開

時間	学 習 活 動	※教師支援 ☆評価
10	<p>○資料の範読を聞き、登場人物を確認する。</p> <p>ロビンの作ったバイオリンを手渡したフランクをどう思うか。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">ひどい、最低だ。(①)</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">人の手柄を横取りしている。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">約束を果たすためだから仕方ない。(②)</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">期日を守ろうとしたのは良いことだ。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">お金も名声も捨てることできない。</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;">はじめから約束しなければよい。</div> </div> </div>	<p>※紙芝居を読むことで、状況設定（あらすじ）を理解しやすくする。</p> <p>※フランクは真面目で誠実な性格であることを確認し、心の迷いを感じることができるようにする。</p> <p>※①の意見には、「フランクはどのような性格だったか」「弟子にどう接していたか」、②の意見には、「あなたが約束してしまったらどうしていたか」などの補助発問を投げかけ、フランクの人柄が悪いのではなく、誰もがもっている心の弱さに傾いたゆえの行動であったことを確認する。(①②C:気づかせる)</p>
20	<p>ロビンから届いた手紙を読んだフランクは、どうして涙をこぼしたのだろう。</p> <p>○相互指名で話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%; text-align: center;"> <p><自責></p> <p>早くロビンに謝らなければならないと、自分を責める気持ち。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%; text-align: center;"> <p><後悔></p> <p>自分のしてしまったことの大きさにあらためて気づき、後悔する気持ち。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>本当のことを知っているはずなのに、自分を責めないロビンは、いい弟子だなという思い。(③)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>ロビンがまだ自分に憧れの気持ちをもってくれていることを知り、ありがたいという思い。(④)</p> </div> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;"><今後の生き方></p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 80%; margin: 0 auto;"> <p>仕事に誇りを持ち、誠実に働いていた昔の自分を思い出し、あの頃の自分に戻ろうという気持ち。(⑤)</p> </div>	<p>※フランクの涙の理由を〈後悔〉〈自責〉〈感謝〉〈今後の生き方〉に分類して板書することで、自分の弱さを見つめるだけでなく、今後の生き方にも目を向けることができるようにする。</p> <p>※③のようなロビンの人間性をほめる内容の意見が出たら、肯定しながらも、「だから・・・」と問い返し、良い弟子ゆえに自責や後悔の思いを強めたフランクに焦点を戻す。(③D:軌道修正する)</p> <p>※④のような意見が多く出されたら、抽出生徒Aを意図的に指名し、「フランクはこの後どう思うか」と補助発問を投げかけ、ゆさぶることで、フランクが今後立ち直り、誠実に生きようする⑤の意見を引き出す。(④E:ゆさぶる)</p> <p>※⑤のような意見が出たら、後悔や自責の念だけではなく、かつての誇り高い自分を思い出し、誠実に生きようとしているフランクの姿に気づかせる。(⑤C:気づかせる)</p>

フランクは、ロビンにどのような手紙を書いたのだろう。
フランクになったつもりで、ロビンに手紙を書いてみよう。

まだ、ぼくのことを慕ってくれて、ありがとう。君は優しい。

あなたのバイオリンを、自分のバイオリンと偽ってごめ

んなぼくにも、心配の手紙をくれてありがとう。

もう一度、バイオリン職人として一からやり直します。
(⑥)

自分に正直に、うそや偽りのない人生を送っていきます。
(⑥)

あなたの気持ちに負けないよう、ぼくも頑張ります。(⑥)

○振り返りをする。

人は誰でも、フランクのように弱い自分を出すことがある。しかし、失敗したときには素直に謝ったり、また一から頑張ると決意したりすることが、自分に恥じない生き方なんだ。

人間には誰にでも弱い部分があることを認めよう。それに打ち勝ち、自分に恥じない生き方を模索しようとする姿。

かせる)

※フランクは、自分のしたことを後悔していることを確認したうえで、問いかける。

※⑥のような意見が出たら、昔の自分の誠実な生き方を取り戻そうとしているフランクの姿を追い、「自分に恥じない生き方とは」と補助発問を投げかける。(⑥C: 焦点化する)

※抽出生徒Aを意図的に指名して発表させる。何か過ちを犯してしまっても、自分に恥じない生き方をしようとする気持ちを全体に広める。

※自分に恥じない生き方について「素直に謝ること」「失敗したら一からまた頑張ること」「嘘をつかないこと」「迷ったときに良い判断をすること」など、生徒の発言を引用して語りかける。
☆人間の弱さを自覚し、自分に恥じない生き方について考えることができたか。

(発言・ワークシート)

授業の視点

- ① 発問は、ねらいとする道徳的価値に迫るうえで有効であったか。
- ② ④Eにおけるコーディネート支援は、フランクの今後の生き方を考え、生徒の学びを深めるうえで有効であったか。